

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 6号)

平成29年12月6日発行
 兵庫のみ研究所

今回調査は強い西風による時化直後の調査でした。上げ潮時ということもあり、大阪湾から流入する海水の影響が二見漁場沖の東部域にまで及んでおり、この海域では窒素は5~6 μg at/L台の値でした。一方、この海域西部ではユーカンピアをはじめ多種多様な珪藻が多く確認され、発生量が全体的に増加しているため窒素は2~4 μg at/L台となっています。引き続き、珪藻の発生状況と栄養塩動向には注意が必要です。

(水温) 漁場内平均15.1℃。平年比0.4℃、昨年比1.5℃それぞれ低い。

(塩分) 平均31.16psu。上げ潮時ということもあり前回(30.77)より0.39psu高い。

(栄養塩、珪藻) この海域西部域では、ユーカンピアをはじめキートセロスやリゾソレニアといった多種多様な珪藻が全体的に増加しており、珪藻の大量発生による赤潮(褐色がかった海水)として確認されている。一方、大阪湾から流入する海水(水温15℃後半~16℃前半)の影響を受けている海域においては、これら珪藻の拡散や増殖は今のところ見られないものの、コシノディスカスが300~450細胞/Lとやや多く認められる。いずれも栄養塩を大量に消費する珪藻であることからその動向が注視される。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	16.4	15.1	15.5	16.6
窒素	5.2	4.7	6.9	8.0
リン	0.52	0.50	0.64	0.65

(11/24)

(12/7)

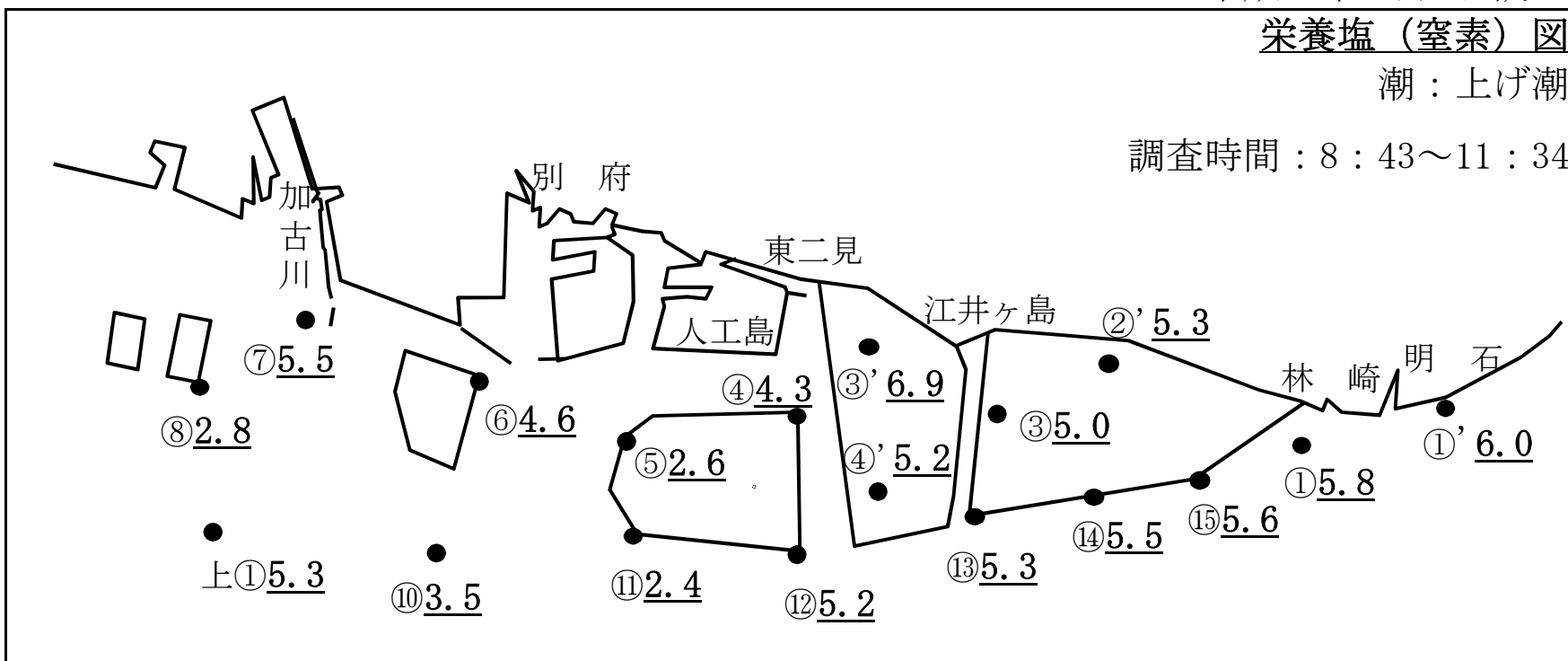
西播地先					
伊保地	水温	14.3℃	伊保沖	水温	14.4℃
	窒素	3.2		窒素	3.4
	リン	0.43		リン	0.47
白浜地	水温	14.2℃	白浜沖	水温	14.2℃
	窒素	2.2		窒素	1.9
	リン	0.33		リン	0.35

平成29年12月6日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：8:43~11:34



水温図

